

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				
	2	職員の配置数は適切であるか	9				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		施設内に段差はないが、手すり等の設置が不十分な箇所もある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	9				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			適宜、面談等にて個人の目標を設定しや毎月振り返りと改善を実施。業務については、管理者と職員間で適宜OJTしている	業務等にて、自身で振り返る事のできるシート等を作成し、PDCAサイクルを実践出来るよう検討
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1		評価表の作成は今回が初めて	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		評価表の作成は今回が初めて	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			月に1度、法人全体で研修を実施している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8		1	第三者評価を実施していない	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2		アセスメントシートを基に、児発管がアセスメントを実施している	
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			朝礼時にどのようなアプローチを行うかスタッフ間で確認している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		無記入1 個人が企画し、全員に周知している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			週毎にプログラムのテーマと内容を変更している。同テーマ内では、児童の状況に合わせて適宜、内容を変えている	
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			平日、休日ともに、プログラムの「ねらい」を設定して、共有している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			毎朝、朝礼にて1日の活動の流れや児童の情報の共有を徹底している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3		勤務の状況が合わないときもあるため、難しい場合は次の日の朝に確認	シフト制の中で、出勤していない職員にも情報の共有が出来るよう仕組みの検討をしていく
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1		個別支援計画の支援目標を月ごとに細分化し、月ごとの短期目標を設定。その短期目標にて支援記録を実施している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			月ごとの短期目標を達成か、毎月会議にて共有し、適宜見直しを図っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	参画が難しい場合は、児童指導員が参加		
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	3	学校への確認事項は、保護者様を通して行っている		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	1 開所して1年のため、連携が難しい	該当児童がいれば、必要に応じて実施していく	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5	2 卒業生がいない		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5	1	外部での研修等へ積極的に参加し、他機関との交流を深めていく	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	4 コロナ禍にて、外部での活動が難しい	コロナウイルスの感染状況を踏まえて、適宜検討。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	7	1 開催が少なく、日程が合わない場合が多い		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			送迎及び連絡帳や、その他ツールを使用しお伝えしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	2 コロナ禍にて、開催が難しい	感染状況も踏まえて、対応を検討していく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				
	31	児童発達支援計画について、保護者へ説明し同意を得ているか。児童発達支援計画に関する相談に対して、適宜対応しているか	9				
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			送迎時及び電話や各種ツールにて、適宜相談に応じている	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	5		企画しているが、コロナ禍のため開催できていない	コロナウイルスの感染状況を踏まえて、適宜検討。
	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1		毎月、おたよりを発行している	
	36	個人情報に十分注意しているか	9			個人情報は、鍵付きキャビネットにて保管	
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			児童の状況に併せて、伝達方法を変更している	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	5	コロナ禍にて、外部での活動が難しい	感染状況を検討しながら、地域資源へ結びつける手段を模索

非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	1	職員へ周知出来ているが、保護者様には出来ていない	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			毎月1回、災害テーマを変えて実施	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1		契約前及び支援計画更新時のアセスメントにて、保護者様へ適宜確認している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3			食物アレルギーに関してリストを作成しているが、周知が足りていない部分もある。よりわかりやすいリストを作成して共有を徹底していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			毎月、ヒヤリハットを職員が提出。全員で共有している	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			1年に1回、法人全体で研修を実施。未参加の職員には、事業所職員より別途研修している	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			補助具等が必要な児童については、個別支援計画に明記し、保護者様より同意頂いている。	